

# 未来を創るワークショップ2009

## ダイアログ(対話)を通じて持続可能な未来を創り出す2日間

私たちは“今”何を始めればよいのでしょうか？

誰かの望む未来から“私”たちの望む未来へ。1人1人の心が響き合う対話のプロセスには、持続可能な未来へ続く可能性があるはずです。ダイアログと呼ばれる対話には、そんな失われた会話のエッセンスがつまっています。この2日間では、組織開発と社会変革の哲学と手法をもとに、2人の“鍵”となるゲストの講演と3つの“共創的”なワークショップ、そして4つの“新たな視点”を通じて未来へのプロセスを生み出す。今までにない、新しい組み合わせと可能性を描いてみました。正解のない世界で、みなさんのダイアログが創り出す可能性を、ぜひ会場で体感してみてください。

1日目 1/17(土)	
9:30	開場 / オープンカフェ
10:00	オープニング・イントロダクション
10:30	ワークショップ 共通基盤の創造 (ワールド・カフェ・ダイアログ) まずは基盤作り！会場に巻き起こる無数のダイアログ(対話)を通して、参加者の共通基盤(コモングラウンド)を創り出していきましょう
12:00	昼食
13:30	KeyNote(基調講演) 「ファシリテーションのタオ」 中野民夫さん インタラクティブQ&A、カフェ・ダイアログ
15:00	休憩
15:45	ワークショップ 参加者の創るダイアログ (オープン・スペース・テクノロジー(OST)) 参加者のあらゆる関心をテーマに！時間と場所を自由に使った対話の場を創り出しましょう
17:30	1日目終了
2日目 1/18(日)	
9:30	開場 / オープンカフェ
10:00	オープニング・イントロダクション
10:30	KeyNote(基調講演) 「社会ムーブメントと1人ひとりの力 - 持続可能な社会に向けて - (仮題)」 サステナ代表 マエキタミヤコさん インタラクティブQ&A、カフェ・ダイアログ
12:00	昼食
13:30	分科会 A~D4つのテーマからあなたが選ぶのは？ [A] 神道とダイアログ: 日本の源に宿る「神話的時間」を生きる(仮) 渋谷聡子さん [B] プロセスワーク - 問題から未来を創り出す - 桑原香苗さん [C] システム思考で考える - 変革を生み出す新たな視点 - 小田理一郎さん [D] カタチ力 - 共創を可能にするデザイン思考を日常にとりこもう 田仲薫さん
15:15	休憩
16:00	ワークショップ 「未来を創るダイアログ」 (ワールド・カフェ・ダイアログ) 2日間を通して生まれた想い・気づき・アイデアをまとめ上げ、未来へのプロセスを始めましょう！
17:30	閉会

会場内では休憩時間と「飽き」時間を利用して、自ら参加し創り上げる「課外活動」を実施しています  
「ユニークサーチ、グラフィックダイアログ、余白のある自己紹介、他」

## ゲストの紹介 / GUEST PROFILE

<b>中野民夫</b> Tamio Nakano	ワークショップ企画プロデューサー & 会社員 1967年東京生まれ。東大卒業後、広告会社に就職。7年目で退職しカリフォルニア統合学大学院(CIIS)に留学。組織開発・変革やファシリテーション、ディー・エコロジーなどを学び帰国。復職し、人材開発や企業の社会貢献、NPO/NGOをつなぐ仕事などに従事。愛地球博(2005年)では「地球市民村」を企画・プロデュース。Be-Nature Schoolファシリテーション講座の監修・講師。社団法人日本環境教育フォーラム理事。明大、立教大学院、聖心女子大兼任講師。 【著書】「ワークショップ(岩波新書)」、「ファシリテーション革命(岩波アクティブ新書)」【共著】「自分という自然に出会う」(講談社)「持続可能な教育と文化」(日本ホリスティック教育協会)
<b>マエキタミヤコ</b> Miyako Maekita	サステナ代表 <a href="http://www.sustena.org/">http://www.sustena.org/</a> 1963年東京生まれ。コピーライター、クリエイティブディレクターとして、97年より、NGOの広告に取り組み、02年に広告メディアクリエイティブ[サステナ]を設立。「100万人のキャンドルナイト」呼びかけ人代表、HYPERLINK “ <a href="http://www.hottokenai.jp/">http://www.hottokenai.jp/</a> ”「ほっとけない 世界のまずしさ」キャンペーンアドバイザー。上智大学、立教大学非常勤講師。最近「フードマイレージ」キャンペーンや、「リスペクト・スリーアール」プロジェクトを手掛けている。 【著書】「エコシフト(講談社現代新書)」、「でんきを消して、スローな夜を。100万人のキャンドルナイト」(マキノ出版)【共著】「世界から貧しさをなくす30の方法」(合同出版)
<b>渋谷聡子</b> Satoko Shibutani	ダイアログ・アーツ代表、組織開発コンサルタント 株式会社ベネッセコーポレーションにて、進研ゼミ中学講座の指導員育成マネージャーを経て、e-ラーニング新規事業を立ち上げる。現在は、「真の対話で人と組織の力を呼び覚ます」をテーマに、経営者、政治家、アスリートなどに対する1対1セッションを実施。また、組織に対して、神話や文化・社会形成の原理に関する研究を適用し、対話(ダイアログ)を中心とした組織開発コンサルティングを行う。 CPCC (Certified Professional Co-Active Coach)、米国 CTI 認定プロフェッショナル・コアアクティブ・コーチ
<b>桑原香苗</b> Kanae Kuwabara	PWI認定プロセスワーカー、IAPOP認定プロセスワーカー <a href="http://www.kanaekw.net">www.kanaekw.net</a> 1963年東京生まれ。日本文学の修士取得後、政府間協力の一環としてインドネシアの大学で日本語教育に従事。かたわらジャワ宮廷舞踊を学び、個人のこころとからだの多様な結びつきが同時に人間関係や組織、地域文化や国家間の葛藤などと多層的に関わることを経験。それら全体を一つのシステムとして扱い、豊かな体験と学びを生み出す手法としてプロセスワーク(プロセス指向心理学)に出会い、米プロセスワーク研究所PWIにてプロセスワーク修士及びディプロマ(臨床能力の認定)取得。現在、日本プロセスワークセンター <a href="http://www.jpwc.jp">www.jpwc.jp</a> トレーニングディレクターおよびPWI教員、江戸川大学講師、心理面接室カフェ香庵主宰。また精神科にて心理臨床および組織改革に携わる。
<b>小田理一郎</b> Riichiro Oda	(有)チェンジエージェント 代表取締役、環境NGOジャパン・フォー・サステナビリティ ゼネラル・マネージャー <a href="http://www.change-agent.jp/">http://www.change-agent.jp/</a> オレゴン大学経営大学院経営学修士課程修了。人や組織が自律的に目的を達成する効果的な仕組みを作るため、組織変革のスキルを学んだ後、多国籍企業で10年間、製品責任者・経営企画室長として組織変革の実務にあたる。その後、米国で法人を設立し、企業の社会的責任(CSR)、非営利組織マネジメントの分野でコンサルティング活動を手がける。2005年にチェンジ・エージェントを設立。主にシステム思考と学習する組織を中心に、組織向けの研修・コンサルティングを手がける。2008年1月にSoLジャパンの共同設立発起人としてピーター・センゲ氏を招聘したシンポジウムを開催。 【共著】『なぜあの人の解決策はいつもうまくいくのか』(東洋経済新報社)
<b>田仲薫</b> Kaoru Tanaka	02年から広告会社に勤務。ブランドコンサルタント・グラフィックデザイナー・作曲家として、CIデザイン、五感デザインから組織変革など、国内外の企業・商品ブランドの幅広い領域でお手伝い。近年は、米IDEO社との協働チームの中核メンバーとして、エスノグラフィ手法を用いたデザイン・シンキング発想のプロジェクトを実施。2008年度 EPIC(米・人類学会主催の応用エスノグラフィに関する国際会議)にてIDEOとワークショップ座長を務める
<b>やまざきゆにこ</b> Yunico Yamazaki	グラフィックファシリテーター <a href="http://www.graphic-facilitation.jp/">http://www.graphic-facilitation.jp/</a> 様々な議論の現場で、グラフィックファシリテーション(=グラフィックレコード+グラフィックフィードバック+グラフィックダイアログ)を実施する。300人超のシンポジウムから、企業も国籍も違う参加者の集まる研究会、組織を横断したプロジェクト、経営者・リーダークラスのビジョン研修、組織研修、顧客との協働プロジェクトなど多岐に渡る。企業・組織の事業判断・意思決定、プロジェクトや個人の意識・行動変革の一助になればと“絵筆を持って”活動中。 グラフィックファシリテーター(graphicfacilitator)は、やまざきゆにこの商標登録です。

## ワークショップの概要と申し込み方法

開催日時	2009年1月17(土)、18(日) 10:00~17:30(開場9:30)		
会場	東京近郊(横浜にて調整中)	参加費	【通常申し込み】 20,000円/人 参加費には、2日間の昼食代を含みます。
定員	100名		【ワークショップ申込受付終了(12/29 〆切)】 12,000円/人 <b>受付終了</b> 詳細は下記をご覧ください
申込方法	以下の受付メールアドレスまで、必要情報をお送りください。 [受付メールアドレス] <a href="mailto:sustainablefuture2009@yahoo.co.jp">sustainablefuture2009@yahoo.co.jp</a> [必要情報] 1.お名前 2.ご所属 3>Your Work 4.メールアドレス 5.連絡先電話番号 6.ご紹介者		
その他	スケジュールなどの都合で両日の参加が難しい方はご相談下さい 当日運営のスタッフを募集します。運営スタッフとして参加を希望される方は、上記メールアドレスまでご連絡下さい		
主催	未来を創るワークショップ2009企画運営委員会	共催	ダイアログBar

# 用語集(キーワードリスト)

ワールド・カフェ・ダイアログ？OST？何か面白そう。でもよく分からない。何のこと？何するの？そんなあなたに、プログラムの中で使われている用語について簡単にご説明いたします。こんな感じ？というのが伝われば十分。ワークショップの参加に準備も知識もいりません。まずは体験！詳しいことが知りたい人は、当日の会場で聞いてください。

用語解説	
ダイアログ	単なる雑談じゃなくて、発言の出来ない会議や誰かがリードする討議やディスカッションでもなくて、みんなで一緒に新しい可能性について話し合う。そこには、意味が流れ、未来へのプロセスが生まれる。そんな会話と話し合いのあり方を「ダイアログ」と呼んでいます。
ワールド・カフェ・ダイアログ	カフェの会話を会議室や話し合いに持ち込んだら？ということで生まれた、オープンで創造的な話し合いを生み出す対話のプログラム。4人一組のカフェのような小さなテーブルを会場中にたくさん作り、その中で移動を繰り返しながら話し合います。終わった後は、まるで会場全体の全員と話したような一体感とワクワク感。なぜこれが組織開発に使われるのか。そこには、失われた会話を取り戻す、という意味があります。楽しみと創造性にあふれる対話の場を体験してみてください。
カフェ・ダイアログ	移動はしないけど、カフェの会話を生み出す。という、移動しないミニ・ワールド・カフェ・ダイアログ。ちょっとした話し合いや意見交換もどうせだったら、カフェの楽しさとダイアログの哲学が入った方が楽しいはず。手軽に簡単に。そんな気持ちで、このワークショップのあちこちにちりばめられています。
OST(オープン・スペース・テクノロジー)	こちらは、カンファレンスの休憩時間やコーヒープレイクをカンファレンス抜きで生み出したら？ということで生まれた自由と主体性を生み出す対話のプログラム。聞きたい話を最後まで聞く。これって本当にしんどいこと。まずは、それぞれが自分の話したいテーマを出して、それを小学校の時間割のように割り振り、それぞれがそれぞれに参加したいテーマに加わって対話を行います。出入りは自由。いつまで続くか、いきなり終わるかもその場次第。全ては、今日のあなたの関心は？が中心にあります。自由でオープンな場を体験してみてください。
フューチャーサーチ	未来を探り、創り出すために作られた対話のプログラム。過去から始まり、現在起こっているプロセスを共有し、そこから生まれる未来に参加していく壮大な対話のプログラムです。このワークショップでは、一部を切り抜き、自由に参加できる形で「課外活動」という形で展開されています。
持続可能な未来	Sustainable(持続可能な)Future(未来)。持続可能って？つまりエコ？リサイクル？地球環境みたいなこと？それとも公害とか企業の存続みたいな話？教育？子育て？地域社会？貧困や紛争の解決？あなたは どう思いますか？...続きは当日の会場で！
未来を創るワークショップ2009 企画運営委員会 (さすてなフューチャー2009)	2008年11月に一つのメールが飛び交いました。タイトルは、「[新企画のお知らせ] 企画ミーティングに遊びに来ませんか？」。そのタイトルにつられてか乗せられてか集まった36人のメンバー。毎週、本業の仕事を終えた夜に会議室に集まり未来を創るワークショップの実現のために話し合い、アイデアを出し合い、準備に奔走しました。ワークショップがよかった・おもしろかった、で終わらずに、セッションの合間の休み時間や、2日間が終わった次の日から自然なプロセスが始まる。そんな、“ここから始まるプロセス”が創れたらいいね。という想いでこの企画を練り上げてきました。当日の会場でお会いしましょう！
ダイアログBar	「人と人が出会い、知識と物語が交わり、対話によって新しい可能性が生まれる場」をコンセプトに2008年4月に始まったコミュニティ。ワールド・カフェとストーリーテリングを使った学びの場やシステム思考、プロセスワークなどのワークショップを基点に、対話のプロセスを軸にした活動を展開しています。